



医療従事者に感謝のメッセージ贈呈！

昨日、児童を代表して代表委員会の6年生3名が、大原総合病院の医療従事者の皆さんへ感謝のメッセージを贈りました。

12月以降福島市内においてコロナ感染が広域に広がり、福島市立諸学校においても2学期は1日繰り上げて終了式を、3学期は1日繰り下げて始業式を実施し、福島市をあげて感染症対策を実施してきました。現在、福島市の感染状況は落ち着いているようにも見えていますが、医療機関においては病床使用率も高止まりの状態が続き、医療従事者の皆さんは日々緊迫



した状況の中で、命と向き合ってくださいています。そのような状況を思い、本校の代表委員会の発案で、全校生による医療従事者へメッセージを贈る活動が始まりました。



昨日は、大原総合病院総務部長が来校され、学年ごとに感謝や応援の言葉を手紙に書き画用紙に貼ったメッセージ用紙をお渡ししました。松谷部長さんからは、「昨年からは医師、看護師、そのほかスタッフは、完全防御服を着用し一日中重篤な患者と向き合い緊張感をもって懸命に命を救う活動を行っています。皆さんの心のこもったメッセージは何よりの励みになります。皆さんも感染症対策をしっかり行って元気に学校生活を送ってください。」とのお話をいただきました。

来週は日赤福島病院へメッセージを届ける予定です。医療従事者を応援するためにも、罹らない・移さない感染症対策が必要です。今後も新しい生活様式をしっかりと実践していきましょう。

○6年家庭科 「私も栄養士」 全校生への健康献立が給食に登場！

昨日の給食は「サバの味噌煮・ほうれん草のお浸し野菜たっぷり味噌汁・ご飯・牛乳」でした。6年生の坂野奏太さん、尾形桃佳さん、清野蒼空人さん、栗原紗香さんが家庭科の学習で考えた和風献立。旬の食材を使い、いろどりやバランスを考えて作りました。今後も6年生の献立が登場します。楽しみです。

